

(1) 保存地区の概要

| | |
|-------|---|
| 地区名 | たつの市龍野 |
| 種別 | 商家町・醸造町 |
| 面積 | 約15.9ヘクタール |
| 選定年月日 | 令和元年12月23日 |
| 特徴 | <p>「うすくちしょうゆの発祥地として 醸造業で栄えた龍野城下の商家町」 たつの市龍野伝統的建造物群保存地区は、 16世紀末までに龍野城下に形成され、近世以降、 醤油醸造の一大産地に発展した町である。 江戸時代に形成された町割りを残すとともに、 軒が低く大壁造の古式な町家や醸造に関わる 重厚な土蔵等をよく残し、中世を起源とする西 播磨の城下町としての町並みを形成している。</p> |



(2) 保存地区のあゆみ

| | |
|----------------|---|
| 昭和57年(1982) | 龍野市川西地区伝統的建造物群保存対策調査を実施 |
| 平成2年(1990) | 兵庫県が龍野地区を歴史的景観形成地区に指定 |
| 平成6年(1994) | 街なみ環境整備事業を開始 |
| 平成7年(1995) | 龍野市町並み整備助成事業を開始(現在のたつの市町並み整備助成事業) |
| 平成28年(2016) | 龍野地区歴史的景観形成地区を対象に龍野旧城下町現況把握調査を実施 |
| 平成30年5月(2018) | 龍野町並み保存会発足 |
| 平成30年6月(2018) | たつの市伝統的建造物群保存地区保存条例制定 |
| 平成30年8月(2018) | 龍野地区伝統的建造物群保存地区保存対策調査業務を開始 |
| 平成30年11月(2018) | (公社)兵庫県建築士会と伝統的建造物群保存地区制度の推進に関する協定を締結 |
| 令和元年6月(2019) | たつの市龍野伝統的建造物群保存地区の決定、たつの市龍野伝統的建造物群保存地区保存活用計画の策定 |
| 令和元年12月(2019) | 重要伝統的建造物群保存地区選定 |
| 令和3年3月(2021) | たつの市龍野伝統的建造物群保存地区修景ガイドラインを作成 |

(3) 保存地区の保存と整備

- 令和2年度(2020) 修理事業1件
- 令和3年度(2021) 修理事業4件
- 令和4年度(2022) 修理事業2件、修景事業1件を実施予定

修理事業(令和2年度)



修理事業(令和3年度)



(4) 保存地区の活用とまちづくり

平成2年3月に兵庫県の歴史的景観形成地区に指定されて以降、たつの市町並み整備助成事業及び街なみ環境整備事業を活用し、町並みの保存に取り組んできたため、当該地区の一部について、重要伝統的建造物群保存地区の選定を受けることができた。

(平成7年度～)

たつの市町並み整備助成事業: 建築物、門塀の修景64件

(平成6年度～)

主な街なみ環境整備事業: 道路の修景・美装化16件、建物の修景3件、公園整備3件、街灯設置31基 他

※いずれも歴史的景観形成地区内の実績

過年度修景物件例



修理前



修理後



(5) 住民等の取組

保存地区では、平成30年5月に町並み保存会が発足。毎月役員会を開催し、広報誌やポスターを作成する等、伝建地区の制度周知のための啓発活動を行うとともに、修理事業等の優先順位の調整を行う等、精力的に町並み保存活動を行なっている。

保存地区を含む龍野地区においては、町家や町並みを活用し、オータムフェスティバルや町ぢゅう美術館といった多くの来場者で賑わうイベントが開催されており、地区の活性化が図られている。



町並み保存会役員会



先進地視察



オータムフェスティバル
(龍野の町並み 今昔写真展)



講師を招いた勉強会